

議会 だより



鳴門市
NARUTO CITY

発行／鳴門市議会
編集／議会広報委員会
発刊／2025年(令和7年)9月1日



<https://www.city.naruto.tokushima.jp/gikai/>

目次

令和7年第2回定例会の議決結果	②
人事案件	②
委員会審査、意見書	③～④
一般質問	⑤～⑫
議員表彰	⑫
令和6年度政務活動費使途報告	⑬
鳴門市議会コンプライアンス研修会	⑬
鳴門渦潮高校「表紙制作」	⑭～⑮
令和7年第3回定例会の予定、ご意見箱	⑯

● 鳴門渦潮高校 ●



鳴門をもっと元気に！



若者に市政をより身近に感じてもらうことを目的に始まった市内高校による「議会だより」の表紙制作が、今年で3年目を迎えました。

この企画を通じて、より多くの方々に市政への興味や関心を持っていただければ幸いです。

〈関連記事：14・15ページ〉

No. **132**

《 令和 7 年 第 2 回定例会の議決結果 》

議案番号	案 件	議決結果	所管の委員会
議案第37号	専決処分の承認について（令和6年度鳴門市一般会計補正予算（第11号））	承認 原案可決	予算決算
議案第39号	専決処分の承認について（令和7年度鳴門市一般会計補正予算（第1号））		
議案第40号	令和7年度鳴門市一般会計補正予算（第2号）		
議案第38号	専決処分の承認について（鳴門市税賦課徴収条例の一部改正について）	承認 原案可決	総務文教
議案第41号	鳴門市消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部改正について		
議案第42号	鳴門市消防団員等公務災害補償条例の一部改正について		
議案第43号	鳴門市地域共生センター条例の制定について	原案可決	生活福祉
議案第44号	鳴門市附属機関設置条例の一部改正について		
議案第45号	鳴門市重度心身障害者等に対する医療費の助成に関する条例の一部改正について		
議案第46号	鳴門市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例及び鳴門市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	原案可決	産業建設
議案第47号	鳴門市産業振興センター条例の一部改正について		
議案第48号	鳴門市水道法施行条例の一部改正について		
議案第49号	徳島県市町村総合事務組合規約の変更について	報告	予算決算
報告第2号	継続費繰越計算書について（令和6年度鳴門市一般会計予算）		
報告第3号	繰越明許費繰越計算書について（令和6年度鳴門市一般会計予算）		
報告第4号	繰越計算書について（令和6年度鳴門市水道事業会計予算）	報告	選挙
報告第5号	繰越計算書について（令和6年度鳴門市モーターボート競走事業会計予算）		
報告第6号	繰越計算書について（令和6年度鳴門市下水道事業会計予算）		
選 第1号	徳島県後期高齢者医療広域連合議員の選挙について	選挙	
意 第2号	地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を求める意見書	原案可決	

人 事 案 件

〔選 第1号〕

●徳島県後期高齢者医療広域連合議員

いずみ
泉

みちひこ
理彦

氏（鳴門町）

令和7年11月23日
に鳴門市議会議員
選挙が行われま
す。

注意

《市民の皆様へ》議員からの寄附禁止

選挙の有無に関わらず、議員が選挙区内の人に寄附を行うことは、名義の如何を問わず特定の場合を除いて一切禁止されています。

有権者が求めてもいけません。

冠婚葬祭における贈答なども寄附になるので、ご注意ください。

※議員が選挙区内にある者に年賀状や暑中見舞状などの時候のあいさつ（電報も含む）を出すのは、「答礼のための自筆によるもの」以外は禁止されています。

また、議員や後援団体が選挙区内にある者にあいさつする目的で、新聞・雑誌・テレビ・ラジオなどで有料広告（いわゆる名刺広告など）を出すと処罰されます。このような広告を出すように求めることも禁止されています。



総務文教委員会

●議案第38号

専決処分の承認について（鳴門市税賦課徴収条例の一部改正について）

令和7年度税制改正において、大学生の年代の子に係る特別控除が創設されるなどの地方税法の改正が行われたことから、所要の改正を行うもの。

【質疑】 軽自動車税の改正に関して、市内の課税対象となっている原動機付自転車の台数の推移は。

【答弁】 総排気量が50cc以下の原動機付自転車については、令和5年度は2193台、令和6年度は2125台、令和7年度は2034台となっており、減少傾向にある。



生活福祉委員会

●議案第43号

鳴門市地域共生センター条例の制定について

旧分庁舎を改修し、地域福祉に関する活動の振興や多世代にわたる多様な市民交流の促進を図り、共生のまちづくりを推進するための拠点として新たに鳴門市地域共生センターを設置することから、施設の設置や管理について定める条例を制定するもの。

【質疑】 鳴門市地域共生センターと鳴門市健康福祉交流センターの違いは。

【答弁】 鳴門市地域共生センターは令和2年に休館した鳴門市身体障害者会館の機能を移転した施設であり、利用対象者は主に障がい者の方である。鳴門市健康福祉交流センターは改修後、子育ての拠点施設となる。

【質疑】 鳴門市地域共生センターは一般の方も利用できるのか。

【答弁】 障がい者当事者団体などは優先的に予約できるが、一般の方も利用可能である。

産業建設委員会

●議案第47号

鳴門市産業振興センター条例の一部改正について

市庁舎整備にともなう周辺施設活用により、社会福祉協議会がうずしお会館1階に移転するにあたり、「鳴門市産業振興センター」を「鳴門市産業福祉センター」に名称変更するなど所要の改正を行うもの。

【質疑】 条例に新設された社会福祉を目的とする事業とは。

【答弁】 現在の産業振興センター1階および2階を地域福祉の推進拠点施設として活用する。社会福祉協議会が行う事業および社会福祉協議会が事務局となっているボランティア連絡協議会などの各種団体が行う事業を想定している。



予算決算委員会

●議案第40号

令和7年度鳴門市一般会計補正予算(第2号)

健康福祉交流センター改修事業や(仮称)大麻町総合防災センター整備等推進事業、インキュベーション施設運営事業などに要する予算を増額するもの。歳入・歳出それぞれ7億6386万円を追加し、総額は歳入・歳出それぞれ356億9069万円となる。

【質疑】健康福祉交流センター改修事業の概要は。

【答弁】子育て支援の拠点として子育て世帯が利用しやすい環境を整備するため、1階の東西フロアを遊び場などとし、事務所を2階に移転するほか、3階の会議室の改修などを行う。

【質疑】インキュベーション施設運営事業の概要は。

【答弁】インキュベーション施設とは、創業を目指す方や創業初期段階の方を支援するための拠点。スタートアップや起業・創業の支援、アントレプレナーシップ教育の推進などをコンセプトに事業を実施する。

【質疑】インキュベーション施設運営事業費の内訳は。

【答弁】事業費1500万円のうち、インキュベーション施設管理運営などの人件費が約800万円であり、残りの700万円が創業セミナーやアントレプレナーシップ教育の推進、創業相談業務などの費用である。

地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を求める意見書

地方議会議員は、近年の社会情勢、経済の動向、地域の構造が急激に変化する中、これまで以上に地方行政の広範かつ専門的な諸課題について、住民の意見をくみ取り、的確に執行機関の監視や政策提言等を行うことが求められている。そのため、地方議会への多様かつ有為な人材の参画が重要となっている。

しかしながら、近年の統一地方選挙の結果を見ると、投票率は全国的に低下傾向にあるとともに、政令指定都市においても無投票当選者が生じたほか、立候補者が議員定数に満たない地域も存在するなど、住民の関心の低下や地方議会議員のなり手不足といった問題が深刻化している。

そのような状況を改善するために、例えば、就業者の大半を占める会社員等から議員への転身が行いやすいよう、また、転身後における将来の生活等への不安が軽減されるよう、地方議会議員も会社員等と同様、厚生年金に加入できるような法整備を行い、多様な人材の立候補を促すための環境を整えることが必要である。

地方議会議員年金制度は、平成23年に国会の議決により廃止されたが、その廃止法案審議が行われた衆参両院総務委員会の附帯決議において、「地方議会議員年金制度の廃止後、おおむね一年程度を目途として、地方公共団体の長の取扱い等を参考として、国民の政治参加や地方議会における人材確保の観点で踏まえた新たな年金制度について検討を行うこと」とされていた。こうした中、全国市議会議長会、全国都道府県議会議長会及び全国町村議会議長会等により、実現に向け要望は行われているものの、現在のところ地方議会議員の新たな年金制度に関する法整備は進んでいない状況である。

よって、国におかれては、附帯決議の趣旨を尊重し、また、将来にわたり地方議会議員が安心して議会活動に専念でき、かつ国民の幅広い層からの政治参画や地方議会における多様な人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を国民の理解を得ながら早急に実現するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

令和7年6月20日

鳴門市議会

※定例会で可決された意見書は、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣へ送付しました。

一般質問

代表質問

①長濱 賢一(会派 創心クラブ)

1. 市長の政治姿勢について

- (1) 人口減少対策について
- (2) まちづくりについて
- (3) 交流・関係人口について



②圃山 俊作(会派 潮)

1. 市長の政治姿勢について

- (1) これからの鳴門市の進む方向性について
- (2) (仮称)大麻町総合防災センターについて



③潮崎 憲司(会派 ナルト地方創生会)

1. 市長の政治姿勢について

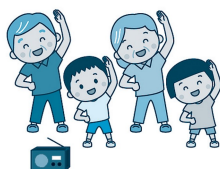
- (1) サイクリング事業について
- (2) クリーンセンターについて



④宅川 靖次(会派 令和なると)

1. 市長の政治姿勢について

- (1) 健康増進について
- (2) 環境行政について



⑤前田ナツ子(会派 公明党)

1. 福祉行政について

- (1) 加齢性難聴者の補聴器購入補助制度について
- (2) 搾乳される方への支援について

2. 防災行政について

- (1) 避難所の環境整備について
- (2) 女性や乳幼児の視点での備蓄品の配備について

一般質問の映像配信は
下の二次元コードよりご覧
いただけます。



パソコン、タブ
レット、スマー
トフォンでご覧
ください。

人口減少対策



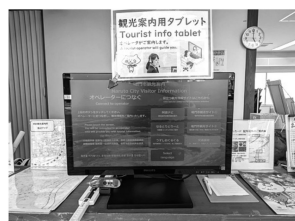
会派 創心クラブ
ながはま けんいち
長濱 賢一

問 泉市長就任(平成21年)時の本市人口は6万2893人、令和6年は5万3228人。出生数は、平成25年に400人を割り込み、令和6年には220人に減少した。市長の人口減少対策の効果と課題は。また、働く場所づくりの施策と今後の取り組み、これまでのまちづくり施策の効果と課題は。

答 不妊治療費助成、子どもの居場所づくり事業補助金の創設など、県内でも先進的な施策に取り組み、なるとまると子育て応援パッケージ事業、学力向上パッケージ事業を創設した。また、スタートアップ企業「おてつたび」との連携や、半農半Xの推進など、移住・定住にも注力してきた。しかし、出産適齢期の若者転出超過、未婚化や晩産化、出生数減少など、依然として重要な課題があると認識している。今後も、結婚、妊娠、出産、子育ての支援体制のさらなる充実、若者の多様な働く場

問 大阪・関西万博や瀬戸内国際芸術祭が開催され、観光誘客拡大には絶好のチャンスである今、なぜ鳴門駅前の観光案内所を無人化したのか。

答 近年、観光客の情報収集方法が大きく変化しているほか、インバウンドの増加に伴う多言語対応が重要となっており、状況を鑑み、観光客が操作して情報を得られるよう観光関連サイトを集約しているほか、複数の言語でシステムが利用でき、リモートによる対面の案内も可能なシステムを導入し、質の高い情報提供を行えるよう努める。



鳴門駅前観光案内所のリモート接客システム

交流・関係人口

の確保や人生を楽しめる空間整備、教育の充実や人づくりを行うため、庁内になると未来デザインプロジェクトチームを結成し、そこでの議論を踏まえ、各種施策に取り組む。

要望 少子化・人口減少の持続可能な対策やまちづくりには財源が必要。基金の造成を要望する。



会派 潮
はたけやま しゅんさく
圃山 俊作

鳴門市の方向性

問 鳴門市の今後の方向性は。

答 4期目の市長就任直後において、今後8年間のまちづくりの指針となる第七次鳴門市総合計画を策定することで将来都市像を示すとともに、都市計画マスタープランの見直しや立地適正化計画などの策定を通して未来の鳴門を形づくる基本構想をとりまとめた。また、総合計画の策定に合わせ、公共交通や行財政改革などの分野ごとの個別計画の整合性を図りながら、市が目指す将来都市像を実現するための施策を推進した。

具体的には、現在新たな「鳴門の顔」となるまちづくりを、鳴門駅周辺から新庁舎周辺、文化会館、親水公園一帯を結ぶエリアで進めるとともに、旧鳴門エリアと大麻エリアにおける住民気質や生活圏の違いを二眼レフの視点で考慮した大麻町のまちづくりに着手している。



(仮称)大麻町総合防災センターイメージ

(仮称)大麻町 総合防災センター

問(仮称)大麻町総合防災センター整備事業の進捗状況は。

答 本施設は地域住民が安心して暮らせる防災機能などを有するとともに、フェーズフリーの概念を取り入れ、日常時から地域住民などに親しまれ、交流することができ施設を目指し、準備をすすめてきた。建物の配置、平面プラン、施設の全体像をとりまとめた。



会派 ナルト
しおぞき けんじ
地方創生会
潮崎 憲司

クリーンセンターの修繕

問 修繕による維持管理費削減や延命効果は。

答 焼却施設の二次燃焼室と空気予熱器は過去5年間で約1億円の修繕費が掛かっており、老朽化に対応するため設備更新を実施する。更新後も一定の修繕が必要だが、計画的な対応で維持費の抑制に努める。延命効果の明確な算定は難しいものの、今後も点検を重ねて安定稼働を図る。

クリーンセンターの 将来像

問 新施設、広域連携などの判断時期と責任体制は。

答 施設は定期的な点検、必要に応じた修繕により安定稼働しており、現時点では稼働期限を設けていない。将来的には、老朽化の進行に伴う稼働可能年数を見据えた対応について、市民生活への影響なども踏まえ総合的に検討する必要があると認識している。



クリーンセンター

環境保全協定書の締結

問 地元との協定書締結が進まない理由は、稼働年数明示と搬入路建設への対応不足ではないか。

答 環境保全協定書未締結の要因は、搬入路建設への対応などにあると認識している。住民の生活環境保全および公害発生の未然防止を図る上で重要であり、この問題を真摯に捉え、引き続き協議を重ねる。



会派 令和なると
たくかわ やすじ
宅川 靖次

ラジオ体操による

健康増進

問ラジオ体操について、これまでの取り組みや今後の方針は。

答平成29年度には、鳴門ウチノ海総合公園において、NHK夏季巡回ラジオ体操の全国生中継が行われ、1200名を超える幅広い年代の市民が参加し、ラジオ体操にふれる良い機会となった。また、鳴門市チャレンジデーにおいても地域の団体に毎年実施いただき、5月28日に実施したチャレンジデーの後継事業であるNARUTOスポーツデーでも多くの方の参加があった。

ラジオ体操は、ご家族や仲間同士でも気軽に楽しむことができ、また、健康増進やコミュニケーションづくりにもつながり大変意義がある。

第2期鳴門市スポーツ推進計画でも各世代の交流の機会を創出することや気軽にスポーツを行うことができる環境の整備に取り組むこととしており、スポーツ施策の一つとして引き続きラジオ体操の普

及に協力する。



クリーンセンターの

環境保全

問クリーンセンターの焼却施設は燃焼ガスの温度を800℃以上で管理していると聞いているが、環境保全の上で問題はないのか。また、新しい焼却炉を建設する予定は。

答法律で定められた基準を満たすよう燃焼ガスの温度を850℃以上で滞留させて稼働しており、環境保全のために定められた基準値の遵守に努めている。現在、定期的な点検や年次計画的に修繕を行うことで安定的な稼働が継続できており、新しい施設などは、情報収集を行いながら研究していく。



会派 公明党
まえだ なつこ
前田 ナツ子

高齢者補聴器購入費

助成事業

問加齢性難聴に悩む高齢者は多い。難聴を放置し意思疎通が難しくなると、認知機能の低下や社会的孤立につながるリスクが高まる。しかし、補聴器の購入は全額自己負担のため、購入をためらう人が多い。加齢性難聴者への補聴器購入費助成事業の導入の考えは。

答助成制度の実施には、加齢性難聴に関する周知・啓発をはじめ慎重な準備と検討が必要である。国の動向を注視し、導入自治体の実施状況を踏まえ、調査研究を行う。

「搾乳できます」

マークの導入

問女性が出産後に社会復帰・社会参加した際に、公共施設や職場などで安心して搾乳ができる環境整備が重要である。授乳室への「搾乳できます」マークの掲示についての見解は。

答搾乳が必要な方が安心して利用できるよう、マークの活用や授乳スペースにおいて搾乳ができる旨の案内表示などの設置について検討する。



神奈川県作成の
「搾乳できます」マーク

女性の視点からの

避難所運営・環境整備

問女性の視点を活かした、女性および災害弱者に配慮した避難所運営、環境整備の取り組みと、避難所備蓄品として赤ちゃん専用段ボールベッドの導入についての考えは。

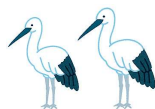
答鳴門市地域防災計画に、市防災会議の女性委員の割合を高めるよう取り組み、多様な視点に配慮し防災対策に努めることを定めている。今年度は、男女共同参画の視点からの防災をテーマに研修する。避難所QOL確保事業において、ベビーベッドを配備予定であり、種類は比較検討する。

個人質問

①八木 亨

1. コウノトリについて

- (1) 新庁舎へのコウノトリのブース設置について



④小西 努

1. 教育行政について

- (1) 部活動の地域移行について

2. 福祉行政について

- (1) 健康寿命の延伸について

3. 大鳴門橋自転車道について

- (1) 大鳴門橋自転車道の完成を契機とした市のPRについて

⑥上田 公司

1. 鳴門市の再生について

- (1) まちづくりについて
(2) 観光振興について

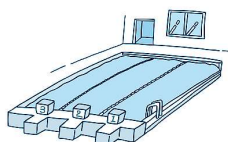
2. 子育て支援について

- (1) なんとまると子育て応援パッケージ事業について
(2) 学校給食について

②東 正昇

1. スポーツ施設整備とまちづくりについて

- (1) 鳴門市新スポーツ施設基本構想について
(2) 鳴門市新スポーツ施設建設予定地の見直しを含めた総合スポーツ施設の整備について
(3) 徳島県アリーナ整備計画への参入について



⑦東谷 伸治

1. 公共インフラ整備について

- (1) 市道の整備について
(2) 集会所の整備について
(3) 駅前再開発について

2. 下水について

- (1) 浄化槽の維持管理について
(2) 高島ポンプ場の整備について

3. 介護事業について

- (1) 人材確保策について
(2) 孤独死対策について

③高麗 裕之

1. 地域コミュニティの活性化について

- (1) 空き家を使った高齢者の居場所づくりについて

2. 観光資源の掘り起こしについて

- (1) 鳴門スカイラインについて

⑤山根 巖

1. 子どもたちの移動手段について

- (1) 子どもホリデーフリーバス・バスポートについて

2. 鳴門市閉校施設利活用施設への支援について

- (1) tonaruへの支援について

3. 健康増進について

- (1) 带状疱疹予防接種について

⑧三津 良裕

1. 鳴門市自転車活用推進計画について

- (1) 自転車通行道路の整備について
(2) サイクルツーリズムの推進による魅力ある観光地域づくりについて
(3) 自転車利用者の安全意識の向上について

新庁舎へのコウノトリ ブースの設置



やぎ 八木 亨
(令和なると)

問 市はコウノトリを市の鳥に指定し、鳴門市コウノトリブランド認証制度の創設やコウノトリのヒナに特別住民票を発行するなど、コウノトリを活用した地域振興に取り組んでいる。全国有数のコウノトリ飛来地であり、繁殖地である鳴門市のコウノトリを全国のみならず世界に発信し、市の鳥であるコウノトリを農業や地場産業、観光などの振興に今以上に積極的に活用すべきである。コウノトリを活かした振興策について市の方針は。新庁舎へのコウノトリブース設置の考えは。

答 市はこれまで、コウノトリに関する情報発信の取り組みとして、平成29年2月に多くの市民が訪れる大道銀天街のアトリエを活用した写真展を開催したほか、令和5年6月には市役所旧庁舎の市民ギャラリーにおいてパネル展示を行うなど各所で取り組んできた。令和6年5月に業務



旧庁舎「市民ギャラリー」でのパネル展示
(令和5年6月)

を開始した新庁舎におけるコウノトリブースの取り組みは、展示スペースに限られるなか、日常業務や安全管理に支障がないことが前提となるが、今年8月下旬にコウノトリに関するパネルや剥製など関連グッズなどの展示を行う予定である。

平成30年にパブリックコメント手続きを経てコウノトリを鳴門市の鳥に指定したことも踏まえ、国や県をはじめ、認定NPO法人とくしまコウノトリ基金などの関係団体からの協力をいただきながら、今後も市内各施設を活用した展示物や展示内容の充実を図り、多くの人の目に触れていただけるような形で取り組みを実施したい。



あずま まさのり
東 正昇
(潮)

新スポーツ施設の 建設候補地

問 新スポーツ施設の建設候補地であるポートレース鳴門西側敷地は、液状化などの災害リスクが高い地域であり、防災拠点の役割を担うという点では、整合性が取れていないのではないか。

答 建設にあたっては、土地の調査から始まり、安全・安心な建物となるよう、さまざまな安全対策を講じて事業を進める必要がある。基本計画策定の中で、具体的な対策の検討を進める。

南部ゲートに 新スポーツ施設を

問 鳴門市の中央にあたる南部ゲートのスポーツ施設ハブ拠点化や施設と地域資源の連携により、経済波及効果を含めた地域活性化が期待できるが、市の見解は。

答 南部ゲートには、道の駅「くるくるなると」を位置付けており、産

直市、観光、防災などの多彩な機能を持つ「にぎわいの門」となっている。また、近隣市町や県外からのアクセス性が高いエリアであり、他施設や他ゲートとの連携による相乗効果も期待できる。このため、南部ゲート周辺に位置する鳴門市総合運動場や衛生センターグラウンドのあり方については、鳴門市スポーツ推進計画の中で検討していきたい。しかし、新スポーツ施設は、さまざまな用途で活用されていた市民会館に代わる施設であるため、アーバンスポーツ・レクリエーションエリアとされているポートレース鳴門西側敷地を建設候補地とし、事業を進める予定である。



アーバンスポーツ
レクリエーションエリア
のUZUPARK

意見 現在の建設候補地は、災害リスクが高く、防災拠点としての役割を担う施設には馴染まない。一方で、南部ゲート周辺は、交通アクセスや防災の点で優位性がある。この地域に新スポーツ施設を整備し、周辺の既存資源との連携を図ることで、日常利用と防災が両立したフェーズブリーな施設を実現できる。



こうらい ひろゆき
高麗 裕之
(ナルト地方創生会)

温かいまちづくりを

問 高齢化が進む中、高齢者が安心して集える居場所を整備することで、健康づくりや地域活性化につながる。高齢者が住みなれた地域で、安心して自分らしく暮らせるよう、空き家を活用した高齢者の居場所づくりを考えてはどうか。

答 空き家の増加は地域課題の一つである。今後、高齢者の居場所づくりと空き家対策を効果的に結びつけることができれば、地域の活性化にも寄与するが、耐震改修やバリアフリー化、地域住民の理解・協力が必要になるなど、さまざまな課題がある。

地域住民や関係団体などのニーズ把握に努めるとともに、本市の実情に応じた高齢者の居場所づくりについて調査研究を進める。

要望 鳴門市を誰もが健康で安心して暮らせるまちとするため、市民と行政が連携し、持続可能でぬくもりのあるまちづくりをともに進めて

いくことを強く要望する。

鳴門スカイラインの 魅力を活かしたPRを

問 大鳴門橋自転車道が完成すれば、鳴門スカイラインはサイクリングロードとして注目を集めると考える。どのようにPRを行っているのか。

答 鳴門スカイラインは総延長11kmに及ぶ県道であり、沿道には四方見展望台、ハートの形をした鏡島や釣り屋形の浮かぶウチノ海の雄大な景色を楽しむことができる絶景スポットとして、市公式観光サイトなどで紹介している。



鳴門スカイライン (四方見展望台)

要望 鳴門スカイラインが鳴門を代表するような観光資源になるよう、さらなる取り組みを強く要望する。

個人質問



こにし
小西
つとむ
(潮)

部活動地域移行

問 中学校部活動の地域移行における進捗状況と、活動場所の確保、地域クラブ支援体制は。

答 体操・新体操・ハンドボールの3競技が地域クラブに移行済。活動場所については、学校施設の空き時間や公共スポーツ施設の活用により対応。支援体制については、部活動を担ってくれる地域団体の募集・相談対応も進めており、地域団体の動向の把握に努めている。

要望 地域クラブに所属する生徒が通学する学校の施設を優先的に使えるよう配慮してほしい。さらに、室内練習場の整備や未活用施設の利活用による環境整備を強く要望する。

健康寿命延伸

問 市が取り組む介護予防事業の成果と、今後の新たな展開は。

答 住民主体の通いの場である「いき

いきサロン」やオンラインフィットネス教室など多様な取り組みを実施。多くの高齢者が参加できる魅力ある介護予防事業を展開し、健康寿命の延伸を目指す。

要望 町内会のデジタル化を進め、高齢者の社会参加を支援することで、認知症予防や健康づくりにつなげたい。祖父母による孫育て支援も評価し、子育て世代の実家回帰促進による地域のつながり強化を提案する。

ブルーインパルス招致

問 令和9年度予定の大鳴門橋自転車道の開通を契機に、ブルーインパルスの展示飛行による鳴門の魅力発信を提案するが。

答 ブルーインパルスの展示飛行は有効なPR手段と認識。実現には航空法手続、安全対策、費用などの課題があるため情報の収集を行う。



要望 ブルーインパルスを招致し、子どもたちの未来につながる感動を提供してほしい。



やまね
山根
いわお
巖

子ども達の移動手段の確保

問 子ども達が市内を移動する手段として、地域バスと市内を運行するすべての徳島バス路線が無料になる子どもホリデーフリーバス事業や、学校再編に伴うスクールバスの運行事業を実施している。今後は、学校行事や日常的な活動にも使えるように移動手段を見直してはどうか。

答 子どもホリデーフリーバス事業は、小学生が休日を通じて地域での学びや体験活動の機会を広げること、重点を置いており、教育環境などの変化に対応できるよう検討する。スクールバスの新たな活用については子ども達がスポーツ、文化芸術に親しむ機会確保の観点や、他の学校や公共施設への移動手段を確保する必要があるため、検討する。

トナルの支援

問 トナル瀬戸、トナル島田について

は、すばらしい施設と内容であるが認知不足が影響してか、多くの人が利用しにぎわっているとは言えない状況にある。そこで、市としての施設の積極的な活用や具体的な支援をしてはどうか。

答 5年間は施設の賃貸料を無償化している。今後も地域の活性化とにぎわいづくりに資する拠点となるよう運営事業者と連携して取り組んでいく。



tonaruシアター
阿波踊り円形常設演舞場

带状疱疹ワクチン接種

問 带状疱疹は、50歳代から発症が増加すると言われている。そこで、50歳以上で任意の予防接種対象の方に公費での助成を実施してはどうか。

答 任意接種助成を実施する自治体の状況や医師などの意見も伺いながら効果や課題などについて調査研究する。

個人質問



うえだ こうじ
上田 公司

まちづくり

問 キョーエイ鳴門駅前店の撤退は衝撃的だったが、周辺地域でも買い物難民の増加を招き、市の施設もポツンと建てるだけでは衰退するのは当たり前で、政策の失敗は明らか。今後、私の提案を参考にグランドデザインの策定を急ぐべきでは。

答 重点まちづくり区域では、さまざまな機能や活動を有機的に結びつけるため、関係者がイメージ共有できる構想図などについて検討する。大塚町では、新たな会議体を通じて地域の課題やニーズを丁寧に把握し、意見集約しながら検討を進める。

鳴門駅前観光案内所の無人化

無人化

問 観光案内所の無人化は、利便性の悪さから市民の苦情が絶えない。早急に観光関係団体の協力を仰ぐか、Aーロボットを配置して、おもてなしや利便性の向上を図るべきでは。

答 より質の高い観光案内とするた

め、鳴門市うずしお観光協会やなると観光ボランティアガイド会の協力を仰ぎながら、よりよいおもてなしについての検討をする。

子育て支援への取り組み

問 子育て応援パッケージ事業は、子育て支援としては評価するが、人口減少対策にはならない。また、私が学校給食の段階的な無償化を提案した後、中学3年生を対象にしたことは評価するが、一方で財源の問題ではなく、市がやる気を出せばできることが分かった。今後は、学校給食への有機食材などの導入の実現に向け、一層の周知や生産振興に取り組むべきでは。

答 農業振興計画で、安心安全な農産物の生産を掲げ、安定供給も推進していることか

ら、学校給食への販路も視野に、引き続き生産促進や、教育委員会や市内JAにも継続的な周知を図っていききたい。



ひがしだに しんじ
東谷 伸治
(ナルト地方創生会)

集会所の整備

問 集会所を「地域福祉の核」として捉え直す視点が必要である。集会所整備について、どのような方針で推進するのか。

答 集会所は、平成28年度は92施設であったが、コミュニティセンターへの集約や利用者の減少などによる施設の廃止により、令和6年度末時点では81施設である。施設の集約化に向けた合意がなされた地域では、集会所の建設を進めている。

浄化槽の維持管理

問 個別浄化槽の維持管理について区域割をすれば効率的になるのではないか。

答 区域割には事業の効率性が上がることや浄化槽の設置状況の把握が容易になるなどのメリットがある。一方で、市民が業者を選択できなくなることで、適正な料金水準の確保や

業務の質の担保ができなくなる恐れなどのデメリットがある。市民生活の影響などの考察や導入自治体などの状況調査を行い研究する。

介護士の人材不足

問 介護人材の不足についてどのような対応をするのか。

答 2030年に向けて必要となる介護職員は1102人、これに対し供給可能な人材は1063人であり、将来的に39人の介護職員が不足すると想定。喫緊の課題であると認識しており、国や県の動向も見据えつつ、全国的な実施事例についても調査研究を進める。





みつ よしひろ
三津 良裕
(創心クラブ)

自転車通行道路の 安全な整備を

問 令和3年3月に策定した鳴門市自転車活用推進計画には、通勤・通学、買物などの日常的な移動や観光レクリエーションなどで安全・安心かつ快適に自転車を利用できるよう、自転車通行空間の整備を効果的・効率的に推進するとあるが、今までに自転車専用通行帯の整備や路側帯の改善などをしたのか。

答 計画では、自転車の交通量の多い路線や事故多発路線、通学路などを踏まえた自転車ネットワーク路線を設定し、市道を含む優先整備区間について整備方針を示しているが、道路幅員や交通量といった構造的制約、費用や関係機関との調整などの課題があり、整備には一定の時間を要している。本年度に予定する計画の中間見直しに合わせ、課題の整理や関係部局との協議を行い、整備のあり方を検討する。

要望 鳴門・大塚スポーツパーク周辺が一年中街路樹の剪定や除草がさ

れ、子どもたちにも安心して安全な歩道・自転車道であるよう要望する。

市内のトンネルと小鳴門 橋の安全通行の実現を

問 中山トンネル、池谷トンネル、三津トンネル、小鳴門トンネル、小鳴門橋は、歩行者や自転車にとつて通行するときに危険性が高い。どのように取り組むのか。

答 トンネル内の照明設備や小鳴門橋の歩道の整備状況は、通行者への安全面の配慮をする箇所であると認識しているが、トンネルや小鳴門橋は、市の所管ではなく、国または県が管理する道路施設であり、本市が直接道路標識や照明の設置、改善を行うことができない。市民や観光客の安全な通行のために、必要に応じて関係機関へ要望していく。



三津トンネル

<議席順>

議員表彰

第101回全国市議会議長会定期総会において、5名の議員が表彰されました。

また、第87回四国市議会議長会定期総会において、1名の議員が表彰されました。

【全国・特別表彰】30年以上在職議員



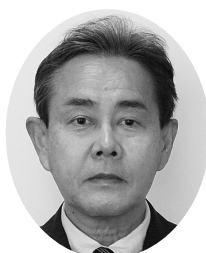
の だ きよゆき
野田 粹之 議員



はしもと くにかつ
橋本 国勝 議員

【全国・一般表彰】15年以上在職議員

【四国・一般表彰】 3年以上正副議長



うえだ こうじ
上田 公司 議員



ひがしだに しんじ
東谷 伸治 議員



やま ね いわお
山根 巖 議員



ふじた しげお
藤田 茂男 議長

■令和6年度政務活動費使途報告■

【政務活動費とは】

政務活動費は、議会の機能強化を目的として、議員の調査・研究活動などの議員活動に要する経費に充てられる公金で、議員1人あたり月額2万5千円交付されます。

〈令和6年度政務活動費使途一覧〉

(単位：円) [50音順]

議 員 名	調査研究費	研修費	広報費	資料購入費	事務所費	計	うち政務活動費充当額
秋岡 芳郎				48,000	10,920	58,920	58,920
東 正昇	39,636			1,188	8,165	48,989	48,989
上田 公司	1,776	110,200			17,271	129,247	129,247
江戸 貴志	67,840					67,840	67,840
梶 達矢	67,840			33,000		100,840	100,840
叶井 克典	1,776	75,600	185,486		3,959	266,821	266,821
高麗 裕之	37,260	64,650		23,760	19,250	144,920	144,920
小西 努	106,276					106,276	106,276
佐藤 絹子						0	0
潮崎 憲司	37,260					37,260	37,260
宅川 靖次		50,040		66,228	144,294	260,562	260,562
長濱 賢一	60,137			3,540	124,108	187,785	187,785
野田 粹之					11,170	11,170	11,170
橋本 国勝					104,030	104,030	104,030
圃山 俊作					29,312	29,312	29,312
浜 盛幸					3,584	3,584	3,584
東谷 伸治	67,840	202,020		22,841	3,663	296,364	296,364
藤田 茂男	69,616					69,616	69,616
前田ナツ子					52,200	52,200	52,200
三津 良裕						0	0
八木 亨						0	0
山根 巖	1,776	20,000		9,972		31,748	31,748
計	559,033	522,510	185,486	208,529	531,926	2,007,484	2,007,484

【鳴門市議会コンプライアンス研修会】

開催日：令和7年7月1日(火) 会 場：鳴門市議会議場

講 師：新川 達郎 氏（同志社大学名誉教授／一般財団法人地域公共人材開発機構 代表理事）

議員が法令や倫理規定を遵守し、透明性の高い公正な議会活動を行うことは、市民の皆様からの信頼を得るために必要不可欠です。

今回の研修会は、鳴門市議会議員のコンプライアンスに関する知識をさらに深め、市議会内外での積極的な行動を促進することを目的として、鳴門市議会として初めて開催しました。

コンプライアンス違反が起きる要因として、コンプライアンスに対する知識・周知徹底の不足、職務条件や環境の不備などがあり、コンプライアンス違反を防止するためには、周知徹底、監視体制、厳格な対応措置が求められるとの説明がなされ、参加した議員は熱心に耳を傾けていました。



「議会だより 132 号」表紙制作者紹介



〈鳴門渦潮高校 2 年〉

大山 美奈 さん 久保 杏奈 さん
郡 煌乃 さん 曾根あおい さん
福井 望月 さん

〈鳴門渦潮高校職員〉

高橋 沙織 教諭

《表紙の説明》 昨年度の「産業社会と人間」の時間にみんなで考えた鳴門パフェについて、さらにパフェの味や大きさ等の改善について班でさらに話し合いをしている様子です。私たちが考えたパフェが実際に販売されて鳴門のさらなる活性化につながれば良いと思います。

議会だより表紙制作の感想

Q1. 議会だよりの表紙制作の依頼を受けて。

A. 自分たちが担当するとなってもドキドキしました。実際に授業で発表して、商品化してもらいたいという思いがあり、頑張りました。



Q2. 制作にあたり、どのようなことに気がつきたか。

A. パフェをよりおいしくするために、話し合いをしている様子を見せたかったので、真剣さが伝わる表紙になるように心掛けました。



Q3. 制作を終えて、率直な感想は。

A. 写真を選んだり、形や大きさを工夫しながら作成するのは楽しかったです。なかなか議会だよりの表紙を作成する機会はないし、良い経験になりました。



Q4. 議員と話をしてみてどんな印象を持ったか。

A. 鳴門市のことについて今までより考えることができ、市議会の方々も若者の意見をたくさん取り入れてくれようとしていてありがたかったです。



Q5. 今後、自分たちが考えたパフェがどうなってほしいか。

A. パフェが実際に販売されることになったら人気になってほしいです。



議会だより表紙制作を通しての高校生と市議会議員の交流

議場での「鳴門活性化発表会」で『鳴門パフェを作ろう』と提案した高校生による表紙制作

鳴門渦潮高校

高校生と議員の意見交換

表紙制作にあたって、鳴門渦潮高校の生徒5名と鳴門市議会議員、副議長、議会広報委員会委員長、副委員長が意見交換を行いました。

当日は、今後の鳴門市のまちづくりについて、いろいろな意見が出ました。



議場での発表後、市公式YouTube「鳴門市KoHoさん」に出演



Z世代が鳴門に集まるパフェ！



市広報職員
が作った
鳴門パフェ



鳴門市の広報担当職員が
鳴門渦潮高校生を取材し、
鳴門パフェを作りました。



鳴門渦潮高校生が出演した
市公式 YouTube
「鳴門市 KoHo さん」

令和7年第3回定例会の予定（9月3日～9月26日）

日	月	火	水	木	金	土
8月31日	9月1日	2	3 開会／本会議 予算決算委員会 全員協議会	4 一般質問 通告締切	5	6
7	8	9 一般質問(代表)	10 一般質問(個人)	11 一般質問(個人)	12 総務文教委員会	13
14	15	16 生活福祉委員会	17 産業建設委員会	18 予算決算委員会	19	20
21	22	23	24	25 議会運営委員会 全員協議会 議会運営委員会	26 本会議／閉会 予算決算委員会 全員協議会	27
28	29	30	10月1日	2 予算決算委員会	3 予算決算委員会	4
5	6	7 予算決算委員会	8 予算決算委員会	9	10	11

■(赤字) はケーブルテレビ中継とインターネット中継、■(緑字) はインターネット中継を行います

ご意見箱

～議会活動に関するご意見を募集しています～

鳴門市議会では、市民の皆様からの議会活動に関する幅広いご意見をいただくため、「鳴門市議会 ご意見箱」を設置しています。

【提出方法】

次のいずれかの方法でご提出ください。

- ①鳴門市議会公式ウェブサイトの「鳴門市議会 ご意見箱」ページから「入力フォーム」に必要事項をご入力の上、送信。
- ②鳴門市役所 本庁舎1階 待合ロビー付近に設置しているご意見箱に投函。

※ご意見に対する回答はいたしません。個人情報に配慮の上、鳴門市議会公式ウェブサイトなどで紹介させていただく場合があります。個人に対する誹謗・中傷などは、お断りいたします。



もっと議会を知りたい



【議会を動画配信で見よう】

本会議と委員会の模様は、インターネット中継と録画配信でご覧いただけます。

また、本会議の模様は、テレビ鳴門でも生放送に加え、録画放送を行っています。



【会議録をウェブサイトで見よう】

- ①「鳴門市議会」を検索。
- ②鳴門市議会公式ウェブサイト内の「会議録検索システム」からご覧になりたい会議録を検索。



《傍聴にお越しください》

令和7年第3回定例会は上記の日程で開催予定です。
本会議、各常任委員会の傍聴に、ぜひお越しください。

・本会議…議場

(受付：西側エレベーター4階／議場入口)

※当日、受付にて氏名、住所、年齢をご記入ください。傍聴券をお渡しし、係員がご案内いたします。

・委員会…委員会室

(受付：西側エレベーター4階／議会事務局)



《議会広報委員会》

委員長：小西 努

副委員長：上田 公司

委員：浜 盛幸・宅川 靖次・八木 亨

圃山 俊作・江戸 貴志・三津 良裕

編 集 後 記

まだまだ暑い日が続きますね。ほんと日本全国津々浦々暑いですが、「あつさ」違いですが、議会だよりも負けずに市民の皆様にも熱く語りかけて、より良い議会活動を領域展開していきたいと思ひます。

これからの市議会に乞うご期待！（委員長：小西 努）

※本紙はカラーユニバーサルデザインに配慮して作成しています。